



昭和町立押原小学校
CS 学校通信 NO.5
令和7年8月12日
校長 小林 正彦

夏休みがスタートしました！

7月24日(木)から36日間の夏休みがスタートしました。(今回の学校だよりは、夏休み中に発行する特別号になります。)各ご家庭においては、いかがお過ごしでしょうか。1学期末の終業式では、暑さ対策についても触れました。暑さや水の事故等に気を付け、子どもたちが全員、元気で楽しい夏休みを過ごしてほしいと願っています。

終業式では、「チャレンジ」と「継続」をキーワードとして子どもたちに話しました。(チャレンジに関しては、学校だよりの前号でご確認ください。)「継続」については、毎日やり続けることが大切で、続けることが成長につながると話しました。そのため、難しい目標設定ではなく、自分にできる目標を決めることが重要になります。この目標を決める一つの目安として、「夏休みの過ごし方7ルール」を参考にしてほしいと子どもたちに伝えました。お家の皆様の協力のもと、夏休み後、多くの子どもたちに「校長賞」を渡すことができることを期待しています。ご家庭においてのご協力をよろしくお願いいたします。

押杜っ子 CLUB が 開設されました！

押原小学校では、夏休みの特別講座を開設しました。(ブログでも扱いましたが)3日間の活動の様子を紹介します。

1日目：7月24日(木)

【写真】

今年度の押杜っ子 CLUB のスタートは、「写真」講座でした。講師に山本彩さんをお迎えし、タブレット端末を使ったきれいな写真の撮り方について学びました。タブレット端末での手ブレ対策、光の向きなど教えてもらったことを意識し、集中して写真

撮影を行いました。



【イラスト】

駿台甲府高等学校美術デザイン科のみなさんを講師にお迎えしました。自分の描きたいキャラクターや動物を画用紙に自由に描きながら、絵を描くときの順序や全体のバランスなど、イラストを上手に描くコツをととても分かりやすく、丁寧に教えていただきました。交流の時間もたっぷり、楽しいひとときを過ごすことができました。



【日本文化】

講師に塩澤政博さんと福田聖子さんをお迎えし、畳や茶道について学びました。塩澤さんからは、畳の敷き方やよさについてのお話や、材料である い草の手触りや香り、畳のヘリを使ったしおりづくりを体験させていただきました。福田さんからは、お茶をたてる道具や心構えを教えてくださいました。実際に お点前を見せていただき、お茶を自分で点てる体験をしました。おもてなしと感謝の心でお茶を点て、日本文化の素晴らしさを実感しました。



【裏面もご覧ください】

2日目：7月25日（金）

【ダンス】

講師に皆川千香子さんをお迎えし、低学年の部・高学年の部の二部制で楽しく体を動かしました。前半は、柔軟体操をしたり、バランス感覚を鍛えたりしました。後半は、「夏祭り」の音楽に合わせて、ダンスをしました。元気いっぱい、体全体を動かし、楽しみながら踊ることができました。



【琴】

講師に坂本琴音さんをお迎えし、琴について学びました。初めて琴を見た子どもたちも多い中、活動の終わりには、みんなで「さくら」を奏でることができました。日本に古くからある琴に興味をもった子どもたちが多く、充実した時間になりました。



【和太鼓】

笑和太鼓の鈴木様に講師をお願いし、和太鼓の体験をさせていただきました。笑和太鼓のみなさんによる和太鼓の実演では、迫力のある演奏に参加児童は聴き入っていました。和太鼓の体験では、実際にバチを持ち、腕や手が痛くなっても練習を続け、最後には教えていただいた1曲をリズムに合わせて打てるようになってきました。



3日目：7月28日（月）

【お菓子づくり】

講師に仲沢希美さんをお迎えし、アイシングクッキーづくりを行いました。子どもたちが自分の好きな色でアイシングクリー

ムを作り、ご用意いただいた様々なパーツでデコレーションをして、世界に一つだけのクッキーを作ることができました。



【プログラミング】

講師に小林康博さんをお迎えし、一人一台端末の「Viscuit(ビスケット)」を使って、前半は、魚を泳がせたり、えさを食べさせたりなど基本的な動作をみんなで一緒に行いました。後半は、自分たちで魚の動きを増やしたり、自分たちでキャラクターを作って動かしたりしました。最後は、プロジェクターに大きく映し、まるで水族館のような世界を鑑賞しました。



4年生の防災教室を実施しました。

4年生は、7月26日（土）に防災教室を行いました。1時間目はNTT東日本の職員の方を講師にお招きし、災害用ダイヤル171に電話をかける体験を行いました。171では音声の録音と再生ができ、安否確認ができます。実際に児童も録音し、お家の人と再生できるかどうか、確かめていました。2時間目は防災ブレーメンの三枝さんをお招きし、主に災害時のトイレについて講話をいただきました。その後、学校にあるものを使用して、簡易トイレを作成しました。身近にあるものが簡易トイレへと姿を変えることに、児童たちは驚きながら学習を進めていました。アルファ米と味噌汁の試食を行い、防災教室は終了になりました。※8月・9月の予定は、前号でご確認ください。



